

# 新井中新聞

# 号外

平成27年3月4日

## 講師の話や仕事体験を通して学ぶ

### 「夢応援プログラム」開催

横浜市立新井中学校（横浜市保土ヶ谷区新井町 星野武彦校長）で3月2日、キャリア教育の一環として、課外授業「夢応援プログラム」が開催された。卒業を直前に控えた3年生60人余が参加し、7つの講座に分かれてそれぞれ受講した。



星野武彦校長

今年で8回目を迎えたこのプログラムについて、星野校長は「さまざまな職業の人と接することは、生徒たちにとって、仕事の苦労を知ったり、仕事に対する思いを訊いたりできるチャンスだと思う。また、将来の進路について考えるだけでなく、各体験や講師らの講話を通して、努力の大切さや、好奇心を広げるきっかけになる」と思っている」と話していた。（U☆M）



デザイナーとして仕事のやりがいを語る濱口さん

### 服のデザイン画 プロが描き方を伝授

3年1組の教室では、服飾専門学科エスモードジャポネ東京校の濱口勝彦さん、時田正美さんによる、デザイン講座が行われ、女生徒12名が参加した。講座では服飾（アパレル）業界の話のあと、服のデザイン画を作成。参加者は、体のバランスを考えて服を描く技法などの指導を受けていた。

講師の濱口さんは「時間との戦いに苦労しながらも、美しくなったモデルをみることにやりがいや喜びを感じる仕事」と話していた。（A/T）



プロのアドバイスを受け、自らイメージした服を具体的にデザインしていく



3年生全員と講師の人数分のケーキを90分で作り上げた

### 「祝15歳の自分」 ハート型のケーキ作り

調理室では、にんじんおから蒸しケーキ作りが行われ男女合わせて9人の生徒が参加した。講師は「生きるのねっこ」管理栄養士中庄さとりさん。中庄さんは「市販のものより甘さ控えめで食物繊維も多い蒸しケーキ」と話していた。参加者の一人は参加理由を「食事は生きていく上で身近なものだから」と話していた。（S）



ケーキの中にはチョコレートを入れて食べたときの驚きを演出する

### ゲームで将来設計を体験

3年2組の教室では20〜60歳代の人生をシミュレーションするマネープランゲームが行われ、8人の男子が参加した。講師は、一般社団法人全国銀行協会企画部広報室企画部金融リテラシー推進室の山田太知さん。生徒の1人は参加した理由を「自分の人生について考えたいと思った」と話す。講師の山田さん

は、「人生には、色々な選択肢があるので想像してほしい」と話していた。（ミッキー）

### オーストラリアンフット ボールで汗流す

校庭では、オーストラリアンフットボール体験が行われ、生徒10人が参加した。講師は一般社団法人日本オーストラリアンフットボール協会普及・育成部で現役日本代表選手でもある榎道人さん。楕円形のボールを使い、バウンドしたボールをとる練習などを行っていた。榎さんは同競技の魅力を「プレーの自由度が高いこと」と話す。参加者の1人はこれを選んだ理由を「楽しそうだから」と話した。（かんはる／せきなつ）



参加した生徒は皆、プレイを楽しんでいた

### 専用機械を使い 自動車の洗車磨きを体験

金木工室前では、自動車の洗車体験が行われた。参加者は男子生徒6人。新田先生の愛車を1人ずつ丁寧に磨いていた。指導は株式会社ジーエフシーサービスの島瀬倫保さん。同社は洗車の他、車が安全に走れるように検査する車検もしている、車のことなら何でもやるとの

こと。島瀬さんは「お客様の大切な車なので、心をこめてやっています」と話す。体験者の1人は「磨く機械の操作が難しかったですが、楽しかったです」と話していた。（ホルシエ）



専門の機械を使って車を磨く。風が冷たいなか、熱心に作業体験を行う。

### 卒業生へ応援メッセージ

全体講演で卒業生にメッセージを送ってくれたのは、NPO法人アステッサンの孫田（そんだ）博美さん。同団体は、中学生高校生対象に社会人が自らの経験を語る事業を行っている。孫田さんは「思いついたことは行動に移し、その時々で道を変えることで自分の行きたい道に進める」と話していた。（shi）



自らの体験を語ってくれた孫田さん

### 記者体験で号外作成

記者体験に挑戦した9人の生徒とともに、この号外を作成しました。各プログラムを生徒自ら取材しパソコンで文章を書き、写真撮影まで手掛けています。（編集長）

